

さぽせんニューズレター

2013年冬号
Vol.36



◆おもちゃと交換「カエルポイント」



◆ジャッキアップでさぽちゃん救助!

日 時： 12月8日(土)
場 所： 茅ヶ崎中央公園・
総合体育館
(柔剣道場)
参加人数： 400人



イザ!カエルキャラバン!inちがさき 2012

「イザ!カエルキャラバン!」は、時とともに薄れてしまう、震災の記憶や教訓を風化させないように、子どもたちや若いファミリーを対象に、ゲーム感覚で楽しみながら「消火・救出・救護」などを学び、災害時に必要な「技」や「知識」を身につけて、家庭や地域の防災力をあげるための体験型防災プログラムです。

☆☆☆プログラム内容☆☆☆

中央公園：

- ◆水消火器でのあてゲーム
- ◆毛布で担架タイムトライアル
- ◆ジャッキアップゲーム
- ◆かえっこバザール・オークション
- ◆起震車 ◆消防車両展示
- ◆福祉バイオトイレカー ◆豚汁ほか

総合体育館：

- ◆持ち出し品なあに?クイズ
- ◆防災カルタ ◆AED講習
- ◆紙食器づくり

(詳細はHPで)



◆何ポイントゲットしたかな?



◆水消火器でヨーヨー落とし

強風が吹きすさぶ中、自治会、市民活動団体や個人ボランティア、行政など総勢100名の協力により無事開催することができました。約400人の小学生と保護者が熱心に防災プログラムを体験し、子どもたちはカエルポイントでオークションに参加。欲しいおもちゃをゲットして満足そうでした。また「モンベル=浮くっしょん」の紹介や「宮田工業=お酢の消火器キッチンアイ」、「浜田屋=大判やわらかハンカチ」の展示販売などの協力もあり、これから企業とNPOとの連携に繋がっていきたいと考えています。

地域で防災訓練を予定されている自治会や子ども会、推進協のみなさま、ぜひ、この体験型防災プログラムをご活用ください。カエルグッズの貸出などはサポートセンターにご相談ください。

共 催：茅ヶ崎トラストチーム 企画協力：NPO 法人プラス・アーツ 後 援：茅ヶ崎市教育委員会
協 力：♣アートケアひろば ♣松尾自治会 ♣柳島自治会 ♣東海岸北五丁目自治会 ♣みずき自治会 ♣中島自治会
♣NPO 法人松の実会 ♣茅ヶ崎市応急手当普及協会 ♣BASF ジャパン(株) ♣NPO 法人やさしくなろうよ
♣Team Aid for Japan~しょうなん茅ヶ崎災害ボランティア(TAJ) ♣茅ヶ崎市消防署
♣イオンリテール(株)茅ヶ崎中央店 ♣(社福)茅ヶ崎市社会福祉協議会 ♣防災対策課 ♣市民自治推進課
協 賛：♣NPO 法人湘南スタイル ♣(株)浜田屋 ♣(株)モンベル茅ヶ崎店 ♣宮田工業(株) 敬称略順不同

共感される文章講座

(全3回) 参加者 10名

【講師】坪田 知己氏 (ジャーナリスト、元・日経新聞記者/日経メディアラボ所長)

【日時】11月16日(金)、30日(金)、12月14日(金) 10:00~12:00 @茅ヶ崎市民活動サポートセンター



NPOが市民の共感と信頼を得ていくために、広報活動を「市民レポート」のような形で支援しようと企画した今回のNPO講座。

受講生は子育て中のお母さんからベテランのフリーライターさんまで、年代は様々ですが共通していたのは「読み手の心に届く自分らしい文章が書けるようになりたい!」という強い思いでした。

初回に書き方のコツを学び、「夢/こだわり」をテーマに添削指導を受けて全員で共有、合評。最終回は「食と人生」という切り口で、地域の人へのインタビューをまとめました。

————— 「誰に、何を伝えたいのか?」

大切なのは技術ではなく、「自分の気持ち」「インタビューの相手に寄り添う心」。文章を書くということは、自分自身を見つめ直してすべてをさらけ出し、ひとつひとつの言葉に真摯に向き合うこと。

受講生の皆さんの、あたたかな眼差しと愛情に包まれた文章から、「いい文章は、読み手に“感動”を与えると共に、“人と人とのつながり”を作っていくことができるのだ」と実感できました。

情報があふれる時代だからこそ、文章の持つ力や可能性を再認識する講座となりました。

●講座修了後、もっと「文章講座を続けたい!」との熱意を受け、フォローアップとして「ボランティア塾」の様子取材し、レポート文章の作成・添削を企画。授業レポートはサポセン HP「ボランティア塾」でご覧下さい。

ボランティア塾

総合学習の一環として市民活動団体が塾の講師となる授業

4年前に鶴嶺高校から始まり、今年あらたに茅ヶ崎西浜高校でも開催できました。

どの団体も市民活動の様子・熱い思いや生き方を伝えるため、グループワークや体験・実演などを織り交ぜて、高校生が興味の持てる内容で授業を進めていました。 ●塾の様子はサポセン HPで

in 鶴嶺高校

11月13日(火)、20日(火)
テーマ「災害」 1年生 360名 参加 14団体



鬼い出の写真を洗浄

聞こえない人へ要約筆記



11/20(火)は体育館での全体学習。

昨年度の塾を受講した現2年生21名が、TAJ主催の《南三陸に笑顔と元気を届ける交流バスパック》に参加。現地での写真と、インタビューをまとめたDVD*(サポセン制作)を上映しました。

サポートセンターからは、必死に救命活動を行った現地中学生のエピソードに触れ、「互いに助け合う心」と「日頃の訓練の大切さ」を伝えました。

*2013年3月2日(土)さぼせんワイワイまつりで上映予定

20日の生徒ふりかえりから...

★ボランティアって特別な人でないとできないと思っていたため、身近な先輩がやっていたと知って驚きました。
★一人ひとりが、自分にできることをして大きな力になっている。小さなことで悩んでいることが、本当にちっぽけだなと感じました。

in 茅ヶ崎西浜高校

1月16日(水)、23日(水) 参加 25団体
テーマ「高校生にできること」 1年生 360名

初の試みで生徒・教職員の関心も高く、市民活動が多岐に亘っていることを知る機会となりました。

自分を分析してみる



ヒロシマを伝える

生徒ふりかえりから...

★大学生が見て聞いて感じたことを伝えてくれ、とても心が動かされました。意識⇒態度⇒行動⇒習慣⇒人格⇒運命⇒人生。被災地に対して自分ができること、これからの人生を頑張っていこうと思いました。(災害援助)

★どうやったら音楽を楽しんでもらえるかを先に考えることによって様々な可能性が広がり、障害者の人も幅広く楽しむことができると改めて思いました。(子ども・福祉)

★命の重さはすべて同じ。人間の勝手に動物を殺すのは良くない。生き物を飼ったりするならきちんと責任を持つべき。(まちづくり)

★自分のことを知ることができ、自分がどんな特徴の人なのか知ることができて良かったです。自分に足りない物がわかったのをそれを補っていきたいです。(福祉)



平成25年度
(2013年度)

協働推進事業(市民提案型・行政提案型)

2012年8月「NPO等と行政の協働に向けた意見交換会」、10月「公開プレゼンテーション」の開催を経て下表の8事業が候補に決定。各事業の詳細については、市HPをご覧ください。

★市民提案型協働推進事業(5事業)	◆景観まちづくり市民講座 (総事業費) 802,000 円	
	団体名：まち景まち観フォーラム・茅ヶ崎	担当課：景観みどり課、市民自治推進課
	景観まちづくりに関心のある層や担い手となり得る層を対象とした連続講座を企画・運営。今後の景観まちづくりの展開について情報交換を行い、問題意識やイメージの共有を図る。	
	◆茅ヶ崎市手話通訳者養成講座 (総事業費) 963,000 円	
	団体名：茅ヶ崎市聴覚障害者協会・茅ヶ崎市手話通訳者連絡会	担当課：障害福祉課
	市内の聴覚障害者のコミュニケーションと社会参加を保障するために不可欠な手話通訳者を育成するための講座を実施する。	
	◆茅ヶ崎海岸のみどりの保全と再生事業 (総事業費) 1,047,000 円	
	団体名：特定非営利活動法人 ゆい	担当課：景観みどり課、農業水産課
	湘南海岸のみどりの再生を実現するため、在来種の苗の確保と、植栽・保全作業を行う人材の育成と確保を行い、保全と再生を持続できるようにするための仕組み作りの第一歩とする。	
	◆NPO と企業の協働に向けた出会いと交流の場づくり (総事業費) 1,753,000 円	
★行政提案型(3事業)	団体名：特定非営利活動法人 NPO サポートちがさき	担当課：市民自治推進課、産業振興課、企画経営課
	企業とNPOが連携・協働し、信頼関係を築ききっかけづくりとして、企業・NPOの交流サロン、フォーラム、NPOとの協働に関心の高い市内企業への面談・調査を実施する。	
	◆(仮称)柳島キャンプ場本格オープン直前企画! 自然にやさしい映画会 (総事業費) 322,000 円 ～映画と共にキャンプ場の魅力を発信～	
	団体名：茅ヶ崎つなぐ海と森	担当課：公園緑地課
	(仮称)柳島キャンプ場を会場に、自然にやさしい映画会や関連イベントを開催し、(仮称)柳島キャンプ場の自然環境保護の啓発と魅力発信を行う。	
	◆市民活動げんき基金 PR・寄附促進プロジェクト (総事業費) 643,000 円	
	団体名：特定非営利活動法人 セカンドブックアーチ	担当課：市民自治推進課
	古本収集イベントを実施。本を持参した方に「市民活動げんき基金」の趣旨周知を図る。また、集まった本を活用した古本市イベントを開催し、収益金をげんき基金へ寄付する。	
	◆文化生涯学習ポータルサイト試作モデルの作成 (総事業費) 2,627,000 円	
	団体名：NPO 法人 湘南スタイル	担当課：文化生涯学習課
	ウェブサイトの構築、SNSなどを絡めた文化生涯学習関連情報発信のプラットフォーム作りを行い、情報発信と情報交換の場の提供を創造する。	
	◆茅ヶ崎市太陽光発電クレジット事業 (総事業費) 1,078,000 円	
	団体名：NPO 法人 ちがさき自然エネルギーネットワーク	担当課：環境政策課
	「いかそう! 太陽エネルギー～めざせ茅産茅消～」を広げるため、クレジット制度の制度設計と審査機関への申請事務・運用・制度周知に関する啓発活動を行う。	

今回は事業提案や実施に結び付かなかった団体も、日々の活動で行政と役割分担したり、げんき基金に申請を検討したりするなど、達成したい目標や方向性が定まり一歩先に進むきっかけとなりました。

サポートセンターでは団体運営に関することはもちろん、市との協働事業やNPO法人設立・認定NPO法人取得など、様々な相談を随時受付けています。お気軽にご来館または電話/メールにてお問合せください。

ユースボランティア茅ヶ崎 ロゴ&キャラクター表彰式



12月9日(日)

茅ヶ崎市社協・NPOサポートちがさきの各代表より各受賞者へ賞状と副賞を授与

10月24日～12月14日の期間中で10日間

市職員3名がNPO研修

NPOと対話すること、直接現場を体験し、意識や特性を知ることが目的とし、昨年度から研修の受入を行っています。

この経験が、茅ヶ崎市が目指す「市民と協力して自治進展を図る」キッカケになればうれしいです。

皆さんお疲れ様でした!

——— また来てくださいね!



サポセン利用者にヒアリング

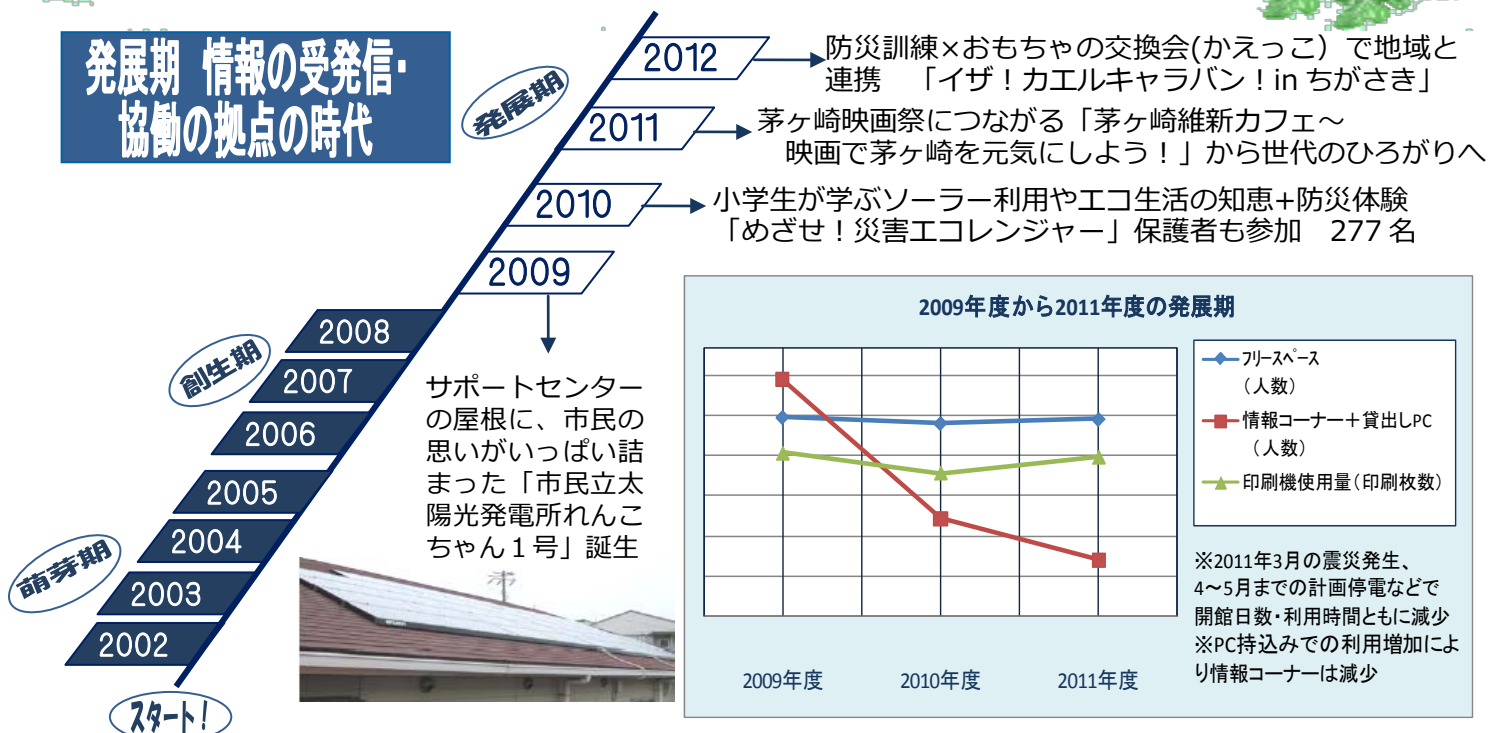
10周年特別企画 さぼせんのあゆみ No3

指定管理者 2 期目の 2009 年からは、施設提供型から情報収集・発信重視型支援へと転換を図ってきました。ホームページリニューアルを機に、イベント情報や助成金情報などをよりスピーディに提供し、NPO と市民をつなぐ「市民活動ガイドブック」をさらに充実させました。

市民活動の楽しさをもっと伝えて共感と信頼を得るための活動 PR や交流事業として取り組んだのは、毎年 3 月に開催する「さぼせんワイワイまつり」や市民活動カフェ。障がいのある人たちと働き方について考える「ぱりあふりーカフェ」から事業型のコミュニティカフェが誕生するなど、次のアクションにつながる事業も数多く実施することができました。

2009 年に始まった高校の総合学習支援「ボランティア塾」は、鶴嶺高校での実績が 2013 年 1 月に茅ヶ崎西浜高校でも 25 団体が参加する広がりとなり、次世代の人材育成事業として期待されています。

きめ細やかな相談対応やプロボノ的ボランティア「さぼせんサポーターズ」制度の導入、企業や行政、関係機関との連携を積極的に推進するなど、新しい公共の担い手となる NPO の自立支援を多角的に遂行しました。また、市民立太陽光発電の設置、館内蛍光灯のキャノピースイッチ化など環境に配慮した施設運営、2 色同時印刷機や丁合機の導入など利便性向上にも積極的に取り組んだ 4 年間でした。



アクティブシニアのすすめ ちがさきを楽しむ茅活(ちかつ)イベント

ここから始まる。ときめきのシニアライフ

日時: 2月23日(土) 14:00~16:30
場所: 茅ヶ崎市民活動サポートセンター

これまで培ったキャリアを活かして、地域での暮らしを再設計! NPO の活動を知って、新たな生きがいを見つけるチャンスです。

シニアと NPO (社会貢献や地域活動の担い手) との出会いの場「茅活」に、ぜひご参加ください。

詳しくは茅ヶ崎市 HP [ブラッシュアップセミナーで検索](#)

コーヒーで心をつなぐ「ほか・ほか」

地域サポーター「ほかココロ」は、障がいをもち人が通う施設で自家焙煎されたコーヒー(「鬼瓦味噌蔵」製造)や、クッキー(「みらまー」製造)の販売支援をサポートセンターでおこなっています。

2012 年 11 月より販売を始め 2013 年 1 月末で、**854 杯**のコーヒーと **544 個**のクッキーをお買い上げいただきました。ご利用いただいた皆様に深くお礼申し上げます。

有資格者がいるカフェ営業ではないため、セルフドリップでのご協力を改めてお願いいたします。

■「ほか・ほか」では販売ボランティアを募集中!

■お問い合わせは、地域サポーター「ほかココロ」スタッフ 此川まで (TEL.090-9819-8418)

さぼせんニューズレター2013 年冬号(2013 年 2 月 1 日発行)通算 36 号

編集・発行 特定非営利活動法人 NPOサポートちがさき 発行責任者 益永律子

〒253-0041 神奈川県茅ヶ崎市茅ヶ崎 3-2-7 茅ヶ崎市民活動サポートセンター

TEL/FAX: 0467-88-7546 Eメール: s-center@pluto.plala.or.jp ホームページ: <http://sapocen.net/>